

第 29 回 英語教育夏期講座

— 英語を学び続ける —

対象：中学校・高等学校英語科教員または教員志望。

埼玉県内在住または勤務する方

目的：英語教育についての理解を深める

期日：平成 26 年 8 月 1 日（金）

会場：文教大学越谷校舎 3 号館（3401R）

定員：80 名

◆ 講義・発表内容

講義① 「On English Learning and the

Compartmentalizing of Contemporary China」

ジェームズ グラハム（文教大学）

Based largely on anecdotal findings made in a class for English major sophomores at Bunkyo University, the speaker will explore the curious difficulties students encounter in writing about contemporary China in English. Reasons for those difficulties will be explored with suggestions on how they might be eliminated. Drawing from a wide range of experiences and observations beyond the classroom as well, the speaker, himself a once-upon-a-time major in Chinese language and literature at the University of Washington (1980), will argue for the world's most populous country and second biggest economy being granted a brighter spotlight in Japan's 21st century English language education.

講義② 「ジャパニーズ・イングリッシュではダメですか」

柴田 美紀（広島大学）

グローバル化の進む社会の中で情報や見解を英語で世界に発信することが求められており、日本の英語教育も英語コミュニケーション能力を伸ばすことを目標としています。ところが、多くの日本人英語学習者は母語話者英語の習得を目指し自分たちの英語に対して否定的です。こうした態度は日本人が英語で発信する自信の無さに結びつくと考えられます。そこで、本講義では言語態度に関わる先行研究を紹介し、英語教育とリンガ・フランカ英語について考えてみます。

講義③ 「日英語の『音』の違い」

山岡 洋（桜美林大学）

日本の学校教育において、「コミュニケーションツールとしての英語」の重要性が叫ばれて久しいですが、まだ学校における音声教育は不十分なようです。今回の講義では、日本語と英語の音を比較しながら、音声教育に必要な「音節 (syllable)」「アクセント (accent)」「リズム (rhythm)」について、できるだけ具体的な例と照らし合わせてお話ししていきます。

文教大学 言語文化研究所 夏期講座

平成26年 **7月31日(木)**・**8月1日(金)** ※31日は書道のみ

英語教育夏期講座

— 英語を学び続ける —

日本語教育夏期講座

言語学習と協働的な学習
— ピア・ラーニングの効果と活用 —

中国語教育夏期講座

— おいしい中国語の味わい方 —

10:30 12:00	「On English Learning and the Compartmentalizing of Contemporary China」 ジェームズ グラハム (文教大学)	「ピア・ラーニングとは何か」 影山 陽子 (日本女子体育大学)	「中華料理と中国語」 趙 曉柏 (北京外国語大学)
13:00 14:30	「ジャパニーズ・イングリッシュではダメですか」 柴田 美紀 (広島大学)	「ピア・ラーニングの体験」 影山 陽子 (日本女子体育大学)	「中国語の発音学習 —唇内入声音の促音化について」 舘野 由香理 (文教大学非常勤講師)
14:45 16:15	「日英語の『音』の違い」 山岡 洋 (桜美林大学)	「ピア・ラーニングの日本語教育への活用例」 小笠 恵美子 (津田塾大学)	「中国語—学ぶことと教えること 「補語」を例にして」 植村 麻紀子 (神田外語大学)

書写書道教育夏期講座

※受講無料 (但し資料代500円。書道のみ1,000円)

A・書文化コース

吉沢 義和 (元文教大学文学部教授)

B・学校教育コース

豊口 和士 (文教大学)

31日(木)	10:30 12:00	「創作(1)」 ・ 創作の手順	「学習指導要領解説」 (小中高)
	13:00 14:30	「創作(2)」 ・ 漢字の書を中心に 作品の構想を練る	「実技(1)」 ・ 基本的な用筆法・運筆法
	14:45 16:15	「創作(3)」 ・ 構想をもとに試書する	「実技(2)」 ・ 漢字(楷書)
	10:30 12:00	「創作(4)」 ・ 小品(半切以下)を 仕上げる	「実技(3)」 ・ 漢字(行書)
1日(金)	13:00 14:30	 「実技(4)」 ・ 平仮名・片仮名 ・ 漢字仮名交じりの書	「実技(5)」 ・ その他 (草書・隷書・篆書・仮名など)
	14:45 16:15	「講義」 ・ 書の鑑賞の態度	



会場：文教大学
越谷校舎



北越谷駅 下車 西口 徒歩10分
(東武スカイツリーライン・東急田園都市線・東京メトロ日比谷線・半蔵門線※直通運転)

主催：文教大学大学院附属言語文化研究所

申込締切：平成26年7月22日(火)必着

問合わせ：(048)974-8811

お申込み：<http://www.bunkyo.ac.jp/faculty/genbun>